学校だより　１月号

ふたみにし

平成30(2018)年１月９日

明けまして　おめでとうございます

校長　長井　佐智夫

新しい年、平成３０年がスタートしました。そして、年度のまとめの学期である３学期の始まりです。西っ子たちの元気な顔が、学校に戻ってきました。

今年は戌年です。年末に興味深い調査結果が出されました。日本全国の犬と猫の推計飼育数について、1994 年の調査開始以来、初めて猫が犬を上回ったということです(一般社団法人ペットフード協会調べ)。犬は３年連続で減少し猫は２年連続で増加しており、その理由の一つとして、犬はしつけや散歩が必要なため、猫に比べて負担感が大きく、敬遠につながっているのではないかと考えられています。ライフスタイルの変化により仕方ないことかも知れませんが、日本の昔話にもよく登場する親しみある犬とこれからもうまく共存していきたいものです。実際犬を飼っている身としましては…。

さて、毎年、兵庫県と(公財)兵庫県人権啓発協会が募集している「のじぎく文芸賞」の平成２９年度受賞作品が、このほど発表されました。その中の、詩部門最優秀賞に選ばれた小学３年生の女子児童の作品「キグルミになりたい」を紹介します。

キグルミになりたい

キグルミになりたい
人にわるロを言われても
何も言いかえさず
いつも笑顔

キグルミになりたい
人にたたかれても、けられても
やりかえさず強い体で
いつも笑顔

でもキグルミがひとりになった時
出てくるのは
つかれた心といたかった体
作っていた笑顔

キグルミになりたい？

本当になりたいのは
そんなひとりになったキグルミの
心と体に気がついて
「いたかったね」
「がんばったね」と
声をかけてあげられる人

このように、周りの人の本当の思いや気持ちに気づこうとし、寄り添うことができる子どもを育んでいきたいと考えます。そして、どの子も「学校が楽しい」という思いをもって次の学年へ進めるよう取り組んでいく３学期にしていきます。

１.１７を忘れない

１月１７日は、２３年目を迎える阪神・淡路大震災記念日です。

今年も、追悼集会、防災学習、地震・津波避難訓練、震災給食を行います。年々、メディアに取り上げられることが少なくなってきていますが、震災の教訓を生かせるよう、指導していきます。

寝床に常備おきたい３つのアイテム

防災教育担当

日本は世界の中でも地震が多く発生する国の一つです。公的機関の援助を自分が受けられるまでに長い時間が必要となり、それまでの間、自分で工夫しないと生きていけない状況が予想されます。また、一人一人が受ける援助を小さくすれば、多くの人に素早く援助がまわっていくことにもつながるため、日ごろから地震に対する備えをしておくことは大切です。

皆さんは、寝床に何を置いて寝ていますか。目覚まし時計、眼鏡、本など、各家庭によって、いろんなものが置いてあることでしょう。ある調査によると、一番多かったのが次の６点です。

① 小型の懐中電灯
（フラッシュライト）
② 簡易スリッパ
（折りたたみスリッパ）
③ 手袋（軍手）
④ 笛（ホイッスル）
⑤ メガネ・吸入薬の予備など
⑥ これらを収納するポーチや袋

この中でも絶対に普段から常備しておきたいものは何だと思いますか？
それは、次の３つです。

Ａ 照明	Ｂ 手足を守る道具	Ｃ 助けを呼ぶ道具

Ａ 懐中電灯

夜中に地震が起こり停電すると、暗闇となります。防災用に懐中電灯を置いていても、その場所までたどり着くことが困難な状態になります。また、スマートフォンなどをライト代わりに使うために枕元に置いていても、大地震の揺れに襲われると見つからない場所へ移動してしまう可能性があります。必ず布団から手を伸ばせば届くところに、懐中電灯を用意してください。

Ｂ スリッパ

大地震で家の中がメチャクチャな状況になった場合は足下の確保が重要です。窓ガラス、食器扉、蛍光灯などが割れて飛び散ったり、画鋲やビスが落ちて転がったり、普段は収納してある鋭利な文房具やインテリアが落ちて散らばったりするなどと、足下に何があるかわかりません。足元を守るものは必需品です。

Ｃ 携帯用の笛

倒れた家具に潰されて身動きが取れなくなったり、部屋に閉じ込められたりしてしまった場合には、笛で救助を求めるのが効果的です。大地震の直後はほこりや粉塵が立ちこめるため、大声を出すとのどを痛めやすく、助けを呼び続けることができなくなるからです。なお、徹底するのであれば、ポーチに入れるのではなく首からぶら下げて就寝するとよいでしょう。

３年生　総合

「育てた大豆で　きな粉・豆腐づくり」

３年生は、神出自然教育園で、６月に植えた大豆を収穫し、きな粉、豆腐づくりに挑戦してきました。
初めての体験でしたが、みんな一生懸命取り組みました。食べるととてもおいしくて、みんな大満足でした！！

◎神出自然教育園では、大豆のしゅうかくで、黒豆は、皮をむいたとき、めちゃくちゃかたくてビックリしました。とうふ作りでは、スーパーなどのお店では、とうふは安いのに、とても手間がかかっていて、いがいだなと思いました。　【１組　川上　就也】

◎神出自然教育園できなこづくりをして、とても力がいり、大変でした。作ったきなこはさいしょはふつうのきなこで、次にせつぶんの豆の味がしておいしかったです。大豆のしゅうかくのとき、ぬこうとしてもなかなかぬけなくて、ぬけたときはうれしかったし、根がものすごくひろがっていたから、根強い植物だと思いました。
【１組　杉井　敦哉】

◎黒豆はたくさんとれました。さいしょはどんな大豆かなあと思っていたけど、なかみを見ると黒豆がでてきました。とうふ作りは、とても楽しかったけど、作るのがむずかしかったです。味は、おいしかったです。スーパーでかうのよりおいしかったです。きなこ作りは回すのが楽しかったです。味は、おいしかったです。大豆のしゅうかくとか、とうふ作り、きなこ作りができて、うれしかったです。　【２組　高木　萌花】

◎とうふを作ってみて、こんなにむずかしいなんて、思ってもみませんでした。とうふはおいしかったけど、しょうゆをかけるともっとおいしかったです。きなこ作りでは、大豆をけずる物をぐるぐるまわすのがむずかしかったです。でも、たべたらおいしかったです。学校のきなこより作ったきなこがおいしかったです。大豆のしゅうかくでは、根が大きいのでひっぱりにくかったですが、しゅうかくしました。その中には黒大豆がはいっていました。黒大豆をぜんぶとりだしました。それも楽しかったです。
【２組　石塚　大幹】

◎とうふを作るとき、すごく不安になったけど、みんなで力を合わせてがんばるとおいしいとうふが作れました。きなこ作りでは、石うすを使って作りました。重たかったです。神出自然教育園では、いろんな植物や動物を大切に育てていました。
【３組　木場　絵梨香】

◎神出自然教育園での豆ふ作りでは、みんなできょうりょくして作ったのでおいしかったです。大豆のしゅうかくは、引くことが楽しかったです。きなこ作りでは、きなこを食べておいしかったです。自然観察では、色々な生き物がいて面白かったです。また、行きたいです。　【３組　竹内　陽太】